

土層区分表

地質年代	地層区分		土層区分	記号
	第四紀	現世	埋土	砂・礫質土層 粘性土層
新生代	新第三紀	中新世	砂・礫質土層	Ksg
			砂質土層	Ks
			粘性土層	Kc

- 注1) ボーリング地点以外の地層線は推定であり、実際と一致しない可能性がある。
 注2) 標高は敷地東方の道路上のマンホール蓋天端をKBM H=+100.67mとして、同地点より水準測量にて求めた値である。
 注3) 今回調査では下記①～⑤にしたがって作成している。
 ①調査地付近は表層より神戸層群が分布すると想定されていることから、調査地で確認した土層は神戸層群とした。
 ②No.3地点以外は地点間が23～46m程度であるが、No.3地点と一番近いNo.5地点の地点間は70m程度と離れている。
 ③No.3地点以外は土質の分布状況が比較的似ているが、No.3地点は大きく異なる。
 ④No.3地点の深度8.95～16.90m [H=+91.60～+83.65m]間は、それ以深の神戸層群とは土質状況が異なり、大阪層群の可能性もあるが、不明瞭である。
 ⑤上記②～④から、今回確認した土層は全て神戸層群とした。また、土層の連続はNo.1、No.2、No.4、No.5地点間のみを記載し、No.1、No.2、No.4、No.5とNo.3地点間は不明とした。

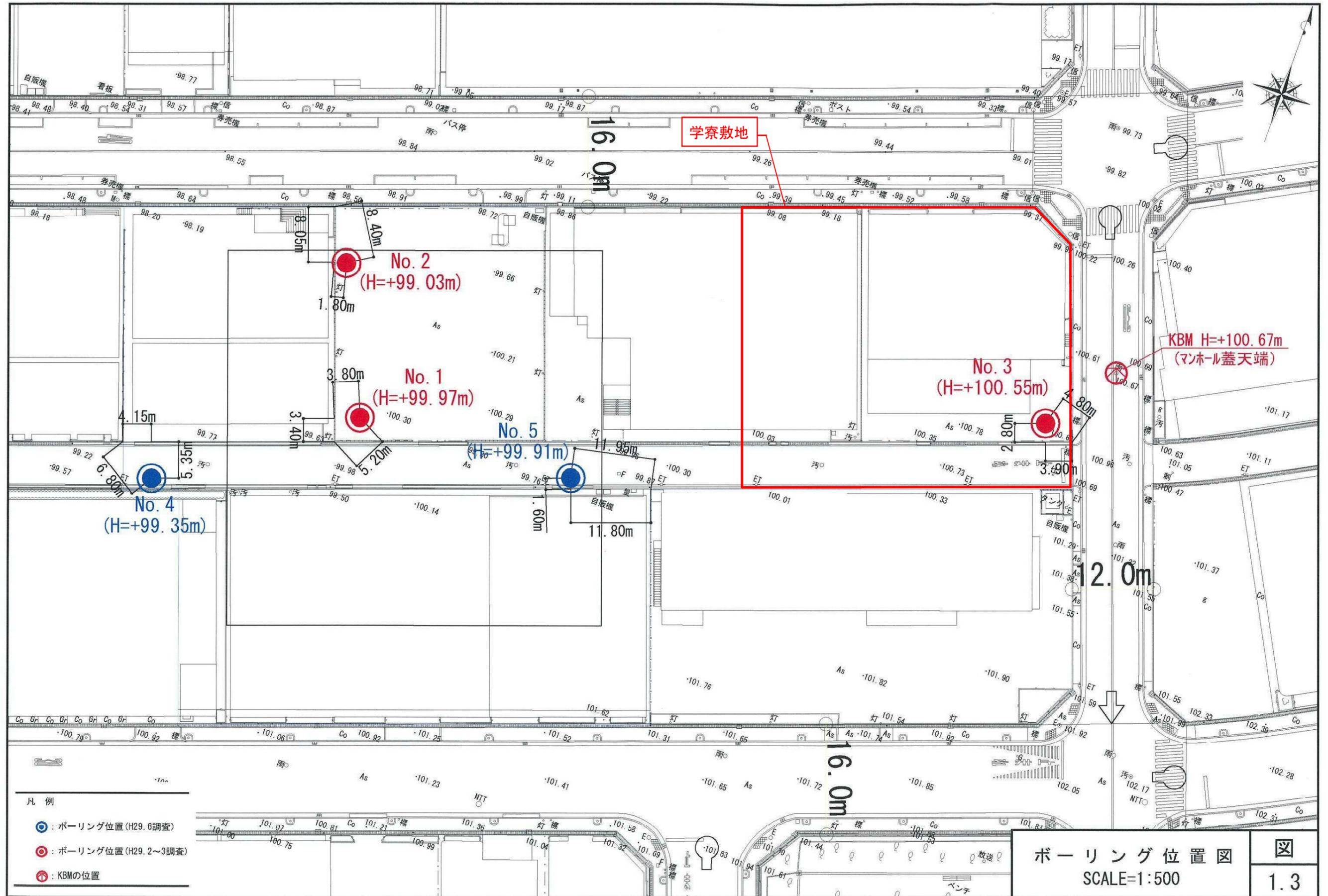
注4) 土地の利用履歴等調査により本事業用地には、土壤汚染が懸念される事業所等は存在しない。

土質柱状羅列図

V=1:400

図

4.1.1



土質柱状図

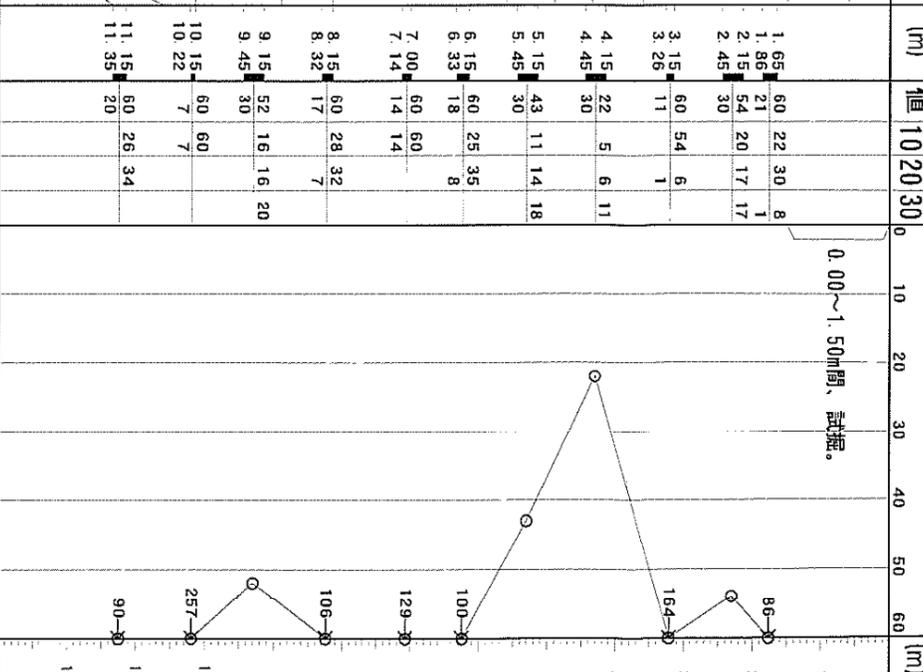
調査名	大阪大学(箕面)箕面新キャンパス計画地地盤調査(その2)		備考
ボーリングNo.	5		試料採取方法の記号 P:標準貫入試験用サンゴラ T:シンクチャールサンゴラ A:トリゾルチューブサンゴラ D:デニンソン型サンゴラ 標準貫入試験の落下用具は半自動落下装置を使用した。
所在地	大阪府箕面市船場東3丁目5番地		
調査年月日	2017年 6月12日~2017年 6月15日		無水掘り深度・・・6/12 1.50m ケーブル：φ80mm 2.00m 孔壁保護の為
孔口標高	+99.91m	基準 KBM H=+100.67m (ツボリ蓋天端)	
ボーリング工法	ロータリー式オイルフラインド型		
実施者	中嶋 友一	責任者	田中 洋

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	孔内水位 (m)	試料採取 番号 方法	土質記号	土質名	色調	記事	相対密度および コンシステンシー	標準貫入試験			標尺 (m)			
											貫入深度 (m)	N値	10cm毎の 打撃回数				
1	+99.31	0.60	0.60	▽ 6/12 0.70 気象観測水位			砂	暗灰	表面5cmツボリ 砂(φ2~4.0mm) 埋土 所々粘土分少量混入(埋土)	-	1.66	60	22	30	8		
2	+98.41	1.50	0.90				礫混じり中砂	暗黄灰	埋土 所々粘土分少量混入(埋土)	非常に 結まっている	1.86	21	20	17	17	1	
3			2.10				礫混じり細砂	暗灰	埋土 所々粘土分少量混入	非常に 結まっている	2.15	54	20	17	17	1	
4	+96.31	3.60	0.75				シルト質砂礫	暗灰	埋土 所々粘土分少量混入	中 位	2.45	30	30	14	18	1	
5	+95.56	4.35	0.55				礫混じり 粘土質細砂	暗灰	埋土 所々粘土分少量混入	結まっている	3.15	60	54	6	11		
6	+95.01	4.90	0.70				礫混じり シルト質細砂	暗灰	埋土 所々粘土分少量混入	結まっている	3.26	11	1				
7	+94.31	5.60	0.70				礫混じり シルト質細砂	暗青灰	埋土 所々粘土分少量混入	非常に 結まっている	4.15	22	5	6	11		
8	+91.76	8.15	0.75				砂質シルト	暗青灰	砂は細砂主体で所々多量混入	非常に 結まっている	4.45	30					
9	+91.01	8.90	1.25				シルト質粘土	暗青灰	固結している 所々シルト分多量混入	強固	5.15	43	11	14	18		
10	+89.76	10.15	0.45				礫混じり細砂	暗青灰	埋土 所々粘土分少量混入	非常に 結まっている	5.45	30					
11	+89.31	10.60	0.75				シルト質細砂	暗青灰	埋土 所々粘土分少量混入	非常に 結まっている	6.15	60	25	35	8		
12	+88.56	11.35	0.75				シルト質細砂	暗青灰	埋土 所々粘土分少量混入	非常に 結まっている	6.33	18	8				

0.00~1.50m間、試験。

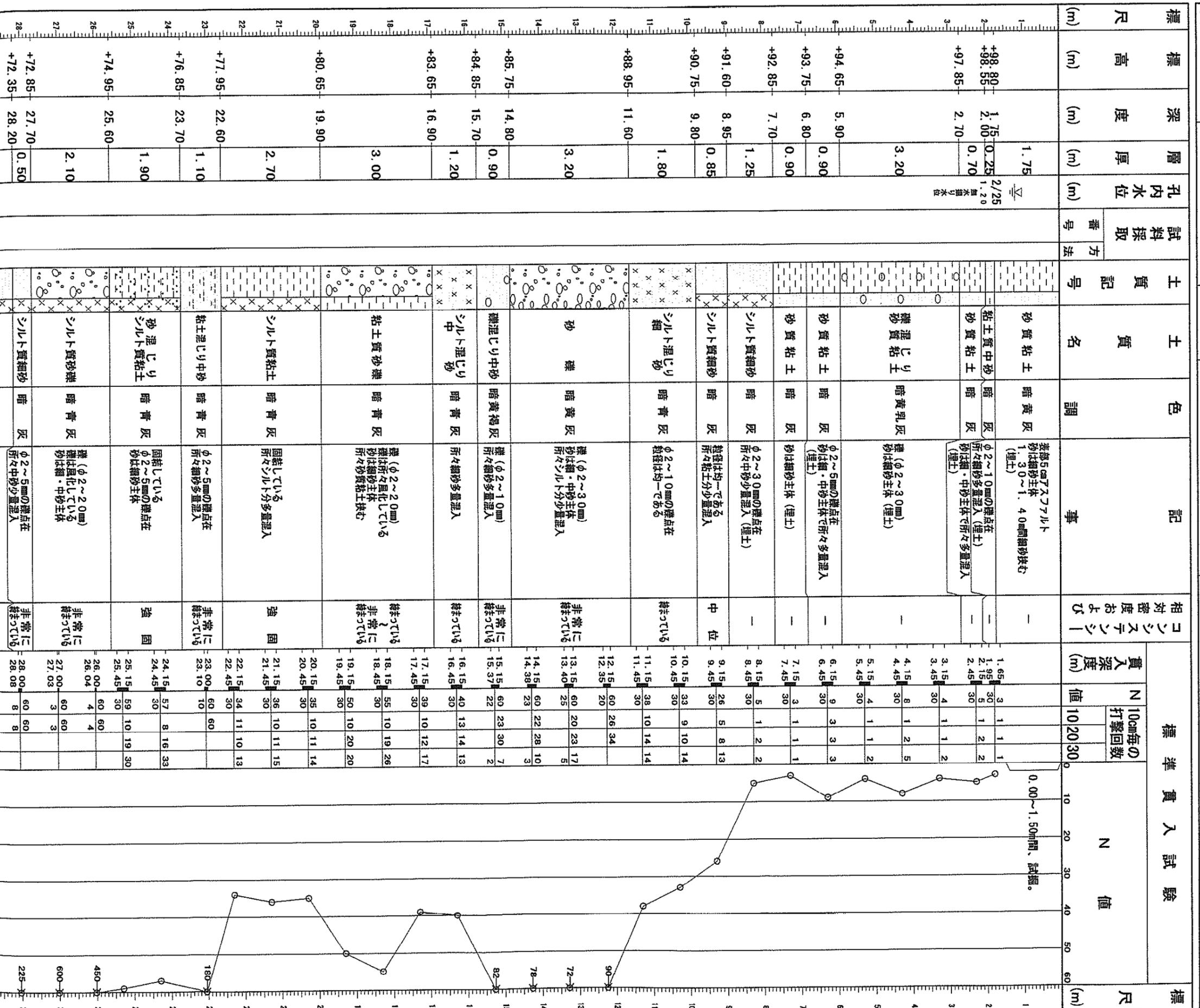
N 値

標準貫入試験



土質柱状図

調査名	大阪大学(箕面)箕面新キャンパス計画地地盤調査(その1)		備考	試験採取方法の記号 P: 標準貫入試験用サンフラー T: シンクオールサンフラー A: トリプルチューブサンフラー D: デニソン型サンフラー 標準貫入試験の落下用具は半自動落下装置を使用した。
ボーリングNo.	3		備	試験採取方法の記号 P: 標準貫入試験用サンフラー T: シンクオールサンフラー A: トリプルチューブサンフラー D: デニソン型サンフラー 標準貫入試験の落下用具は半自動落下装置を使用した。
所在地	大阪府箕面市船場東3丁目5			
調査年月日	2017年 2月24日～2017年 3月 3日			
孔口標高	+100.55m	基準	KBM H=+100.67m(マソール蓋天端)	
ボーリング工法	ロータリー式オイルフライダー型			
実施者	中嶋 友一	責任者	田中 洋	ケーシング: φ80mm 孔壁保護のため...2/25 10.00m 無水掘り深度...2/25 1.50m



標尺 (m)	標高 (m)	深 度 (m)	層 厚 (m)	孔内水位 (m)	試験採取		土質記号	土 質 名	色 調	記 事	相対密度および コンシステンシー	標準貫入試験				標尺 (m)			
					方法	番号						貫入深度 (m)	N	100mm毎の 打撃回数	N 値				
1	+98.80	1.75	1.75	▽ 2/25 1.20 ※ 標準水位				砂質粘土	暗黄灰	表層5cmはアフラト 土砂は細砂主体 1.30~1.40mm細砂挟む (埋土)	-	1.65	3	1	1	1	0.00~1.50m間、試験。	23	
2	+98.55	2.00	0.25					粘土質中砂 砂質粘土	暗 灰	φ2~10mmの礫点在 所々細砂多量混入 (埋土) 砂は細・中砂主体で所々多量混入 (埋土)	-	1.95	30	1	1	2	2		22
3	+97.85	2.70	0.70					礫混じり 礫砂	暗黄乳灰	礫(φ2~30mm) 砂は細砂主体(埋土)	-	3.15	4	1	1	2	2		21
4	+94.65	5.90	0.90					砂質粘土	暗 灰	φ2~5mmの礫点在 砂は細・中砂主体で所々多量混入 (埋土)	-	6.15	9	3	3	3	3		20
5	+93.75	6.80	0.90					砂質粘土	暗 灰	砂は細砂主体(埋土)	-	7.15	3	1	1	1	1		19
6	+92.85	7.70	0.90					シルト質細砂	暗 灰	φ2~30mmの礫点在 所々中砂少量混入(埋土)	-	8.15	5	1	2	2	2		18
7	+91.60	8.95	0.85					シルト質細砂	暗 灰	粒徑は均一である 所々粘土分少量混入	中 位	9.15	26	5	8	13	13		17
8	+90.75	9.80	1.25					シルト混じり 細 礫	暗青灰	φ2~10mmの礫点在 粒徑は均一である	中 位	10.15	33	9	10	14	14		16
9	+88.95	11.60	1.80					礫混じり中砂	暗黄褐灰	礫(φ2~10mm) 所々細砂多量混入	非常に 結んでいる	11.15	38	10	14	14	14		15
10	+85.75	14.80	0.90					シルト混じり 中 礫	暗青灰	所々細砂多量混入	非常に 結んでいる	15.15	60	23	30	7	2		14
11	+84.85	15.70	1.20					粘土質砂礫	暗青灰	礫(φ2~20mm) 礫は所々風化している 砂は細砂主体 所々砂質粘土挟む	結んでいる 非常に 結んでいる	16.15	40	13	14	13	13		13
12	+83.65	16.90	3.00					シルト質粘土	暗青灰	固結している 所々シルト分多量混入	強 固	17.15	39	10	12	17	17		12
13	+80.65	19.90	2.70					シルト質細砂	暗青灰	固結している φ2~5mmの礫点在 所々中砂少量混入	非常に 結んでいる	18.15	55	10	19	26	26		11
14	+77.95	22.60	1.10					砂混じり シルト質粘土	暗青灰	固結している φ2~5mmの礫点在 砂は細砂主体	強 固	19.15	50	10	20	20	20		10
15	+76.85	23.70	1.90					シルト質粘土	暗青灰	固結している φ2~5mmの礫点在 砂は細砂主体	強 固	20.15	35	10	11	14	14		9
16	+74.95	25.60	2.10					シルト質細砂	暗 灰	φ2~5mmの礫点在 所々中砂少量混入	非常に 結んでいる	21.15	34	11	10	13	13		8
17	+72.85	27.70	0.50					シルト質細砂	暗 灰	φ2~5mmの礫点在 所々中砂少量混入	非常に 結んでいる	22.15	30						7
18	+72.35	28.20	2.10					シルト質細砂	暗青灰	粒徑は均一である 所々砂質シルト薄く挟む	非常に 結んでいる	23.00	60	60	60				6
19	+70.55	30.00	1.80					砂質シルト	暗青灰	砂は細砂主体 所々シルト質細砂薄く挟む	強 固	24.15	57	8	16	33	33		5
20	+68.65	31.90	1.90					粘土質細砂 粘土質粘土	暗 灰	(互層) φ2~5mmの礫点在	-	24.45	30						4
21	+67.55	33.00	1.10					シルト混じり 細 礫	暗 灰	φ2~5mmの礫点在 礫は風化している 所々中砂少量混入	非常に 結んでいる	25.15	59	10	19	30	30		3
22	+65.95	34.60	0.76					粘土質シルト	暗 灰	固結している 所々粘土分多量混入	強 固	26.00	60	60	60				2
23	+65.19	35.36										26.04	4	4	4	4	4	1	1
24												29.00	60	60	60	60	60	60	60
25												29.06	6	6	6	6	6	6	6
26												30.00	4	4	4	4	4	4	4
27												30.04	60	60	60	60	60	60	60
28												31.00	60	60	60	60	60	60	60
29												31.03	3	3	3	3	3	3	3
30												32.00	60	60	60	60	60	60	60
31												32.08	8	8	8	8	8	8	8
32												33.00	5	5	5	5	5	5	5
33												33.05	60	60	60	60	60	60	60
34												34.00	60	60	60	60	60	60	60
35												34.03	3	3	3	3	3	3	3
36												35.15	60	21	30	9	9	9	9
37												35.36	21	1	1	1	1	1	1